

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

札幌市長 様

提出者

住 所 〒062-0020

札幌市豊平区月寒中央通6丁目1番15号

氏 名 株式会社 北 英 建 設

代表取締役社長 明 石 誠

電話番号 011-851-3002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 北 英 建 設
事業場の所在地	札幌市豊平区月寒中央通6丁目1番15号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

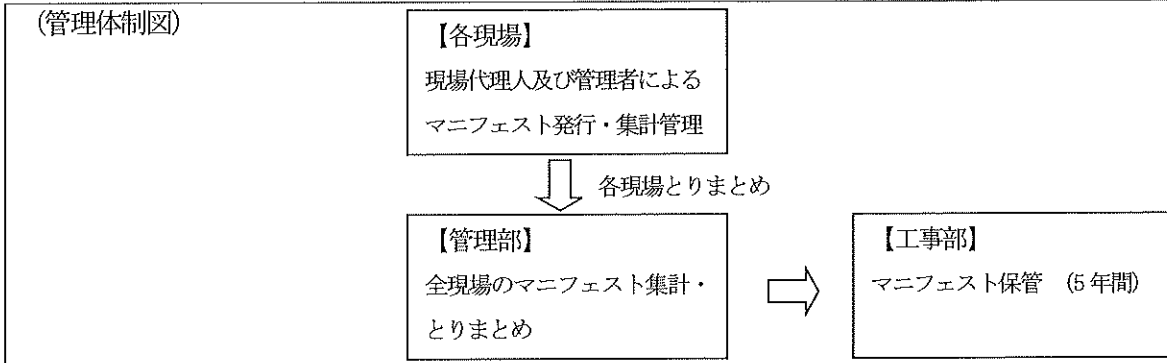
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業 土木工事業 0621
② 事業の規模	令和4年度 受注高 1,500,000,000-
③ 従業員数	38人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場発生 ⇒ 委託収集運搬業者又は自己運搬 ⇒ 委託処理場 ・がれき類 …… 再生処理業者へ委託し再生骨材として再資源化 ・建設汚泥 …… 再生処理業者へ委託し再生埋戻材として再資源化 ・廃プラスチック類 …… 再生処理業者へ委託し原料として再資源化又は埋立処分 ・金属くず …… 処理業者へ委託し原材料として再資源化 ・混合廃棄物 …… 中間処理業者へ委託し選別後、再生利用または埋立処分

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和2年度) 実績】		～別紙参照～	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
	・各現場の混合廃棄物削減 (ごみの分別収集) のため、工事関係者への教育の徹底			
	・無駄のない資材の調達			
	・梱包材の簡素化依頼			
② 計画	【目標】		～別紙参照～	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	・現状の取り組みを継続的に行う			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・がれき類、木くず、鉄くず、廃プラスチック類等の種類毎に品目を明示し収集箱を設置する
	・工事関係者に分別収集の周知徹底を行う
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・現状の取り組みを継続的に行うとともに、上記に加え混合廃棄物の分別 (可能な限り) を行う

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組) 特になし	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—
(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—
(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組) 特になし	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		～別紙参照～
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・委託契約の際、再生利用業者への処理委託に努めている。		

		【目標】 ～別紙参照～	
② 計画	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者を選定する。 ・再生利用業者への処理委託に努める。 	
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

～ 別 紙 ～

産業廃棄物の種類	令和4年度実績	令和5年度計画	令和4年度実績					令和5年度計画				
	排出量 (t)	排出量 (t)	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量 (t)	再生利用業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量 (t)	再生利用業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)
がれき類	1,322.68	1,000.00	1,322.68	0.00	1,322.68	0.00	0.00	1,000.00	0.00	1,000.00	0.00	0.00
建設汚泥	1.65	5.00	1.65	1.65	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	0.51	5.00	0.51	0.51	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
木くず	338.83	300.00	338.83	0.13	338.70	0.00	0.00	300.00	50.00	250.00	0.00	0.00
金属くず	0.18	5.00	0.18	0.18	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.02	5.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
合計	1,663.87	1,325.00	1,663.87	2.49	1,661.38	0.00	0.00	1,325.00	75.00	1,250.00	0.00	0.00